

次の史料を読んで、あとの問いに答えなさい。

- A 建武中元二年、〔 ① 〕 奴国奉貢朝賀す。使人自ら大夫と称す。〔 ① 〕 国の極南界なり。光武賜うに印綬②を以てす。
- B それ楽浪海中に〔 ① 〕 人有り。分れて〔 ③ 〕 余国となる。歳時を以て来り献見すという。
- C 〔 ① 〕 国は高麗の東南大海の中にあり、世々貢職を修む。(中略) 濟死す。世子興、使を遣わして貢献す。(中略) 興死して弟武④立ち、自ら使持節都督倭・百濟・新羅・任那・加羅・秦韓・慕韓七国諸軍事、安東大將軍、〔 ① 〕 国王と称す。
- D 日出る處の天子⑤、書を、日没する處⑥の天子に致す。つつがなきや。
- E 〔 ① 〕 人は帯方の東南、大海の中に在り。(中略) その国、本また男子を以て王と為す。とどまること七、八十年、〔 ① 〕 国乱れ、相攻伐すること歴年、すなわち共に一女子を立てて王となす。名を〔 ⑦ 〕 という。鬼道につかえ、能く衆を惑わす。

- (1) 〔 ① 〕 にはすべて、当時の中国が日本をよんだ呼び名が入ります。漢字1文字で答えなさい。
- (2) 印綬②には「○○○○○印」と刻まれていました。当てはまる漢字5文字を答えなさい。
- (3) 〔 ③ 〕 にあてはまる数を漢数字で答えなさい。
- (4) 武④と同一人物と推定される大王の名を答えなさい。また、その人物にまつわる道具が発掘された熊本県の古墳を答えなさい。
- (5) 天子⑤とは誰のことか答えなさい。
- (6) 日没する處⑥が指す中国の王朝はどこか答えなさい。
- (7) 〔 ⑦ 〕 に当てはまる人名を答えなさい。
- (8) 史料A～Eを書かれた内容の古い順に並べ替えなさい。

(1)	(2)	(3)
(4) 大王	(4) 古墳	
(5)	(6)	
(7)	(8)	

- (1) 古い中国の歴史書では、すべて日本のことを「倭」と呼んでいます。
- (2) 光武帝により授けられたのは「漢委奴国王印」で、江戸時代に福岡県の志賀島で発見されました。
- (3) 漢書地理志では、倭国は「百あまりの国に分かれていた」と書かれています。
- (4) 倭王武は雄略天皇、ワカタケル大王と推定されています。ワカタケル大王の鉄剣は埼玉県の稻荷山古墳が有名ですが、ここでは熊本県の江田船山古墳から出土した鉄刀のことが取り上げられています。
- (5) 聖徳太子（厩戸皇子）が小野妹子を派遣した遣隋使の文書ですが、ここでいう天子は当時の天皇、推古天皇のことです。
- (6) 遣隋使の文書ですので、隋王朝です。「日没するところ」は単に「西にある」と言いたかったようですが、隋の煬帝は無礼な手紙だと怒ったようです。
- (7) 鬼道（まじない）で国を治めた女王と言えは邪馬台国の女王、卑弥呼です。
- (8) Aは「後漢書」東夷伝で1世紀、Bは「漢書」地理志で紀元前1世紀、Cは「宋書」倭国伝で4世紀、Dは遣隋使で7世紀、Eは「魏志」倭人伝で3世紀の内容です。

(1) 倭	(2) 漢委奴国王	(3) 百
(4) 大王 ワカタケル大王	(4) 古墳 江田船山古墳	
(5) 推古天皇	(6) 隋	
(7) 卑弥呼	(8) B→A→E→C→D	